

## 月例山行報告

実施日：2017年11月12日（日）

場所：金袋山（奥多摩・日原）

参加者（敬称略）：三浦、加田、市川、鈴木夫妻、生田目、奥村(L)

交通手段：奥多摩駅集合、東日原行 8:35 バス乗車。16:17 東日原発奥多摩駅行バスにて家路

行程：東日原バス停 09:12 - 09:17 中日原バス停 09:18 - 09:20 稲村岩を経て鷹ノ巣山方面登山口 09:28 日原観光公衆トイレ 09:33 日原鍾乳洞バス停 09:51 一石山神社 09:54 - 11:13 一石山 11:39 ウッドサークル（ミズナラの巨木）11:50 人形山 12:41 金袋山 12:55 - 13:27 ウッドサークル（ミズナラの巨木）13:35 - 13:53 一石山 14:39 一石山神社 14:45 - 14:49 日原鍾乳洞食堂

行動時間：5時間37分（うち休憩1時間ほど）

歩行距離：約7.6Km

累積標高差：登り降り約780m

### 短観

日原は石灰岩の産地で、バスを降りて歩き始めるとすぐに稲村岩という豪快な石灰岩の岩峰(250m!)が目を見舞います。登山口である一石山神社は日原鍾乳洞の川を挟んで対岸にあり、ここの両岸にも100mを越す岩壁の燕岩と梵天岩という岩峰群が聳えています。小川谷林道が鍾乳洞のところで通行止めになっていますが、燕岩からの落石を防ぐ洞門はほぼ出来ているように見えたので、そう遠くない将来に通行止めは解除されるのでしょうか。この林道が使えるようになれば、奥の都県境尾根にも少しはアクセスが良くなるはずで。

梵天岩を祀ってある一石山神社のから登り始めると、すぐに落石よけのフェンスにぶつかります。道がはっきりせずこのフェンスの回避に少し手間取りました。正しい道を見つけてしまえば「な～んだ！」という感じなのですが、まだまだ修行が必要です。大絶壁の燕岩を右に見つ、暫く急な直登路を登っていきます。これも実はジグザグの楽なトラバースがあったのですが、フェンスの裏側で入り損ねました。まだまだ修行が必要です。紅葉がきれいです。ここはカエデの仲間のメグスリノキが多く、モミジに混じって真っ赤な紅葉が目立ちます。一旦植林にはいるとさらに斜度が増します。紅葉の進んだ明るい疎林を抜けると尾根上に出ます。この尾根の末端が例の燕岩。ここで一息つきます。マイナーな山ですが、当日は20人規模の団体がほぼ同じ時間に登っていました。

一石山あたりまで来ると紅葉はすっかり終わっており、山は冬支度が終わっていました。落ち葉が分厚く積もってどこが道だかわかりませんが、迷うような尾根ではありません。2～3週間前ぐらいが紅葉のピークだったようです。途中ピークの人形山の手前に「金袋山のミズナラ」という巨樹があるのですが、話どおり大きな枝が折れてしまっていてかわいそうです。ここで鈴木さんの奥様が不調を訴え待機となりました。残る6名で金袋山へ向かいます。

人形山では団体さんが休憩中で、ここまでということでした。金袋山まではもう急登はありません。風も無く温かい冬枯れの木立の間から周囲の山を眺めながらゆるゆると登り、到着。昼食をとって、出発する時に千葉から来たというグループがやってきました。今日は忙しいですね。鈴木さんの待つミズナラへ少し急ぎつつもと来た道に戻ります。合流して下山ですが、降りるのは早い早い！当初の目安より30分以上も早く鍾乳洞まで降りてくれました。このままバス停に行っても時間をもてあますだけなので、鍾乳洞の食堂兼売店で軽く打ち上げをして時間をつぶし、予定のバスで奥多摩駅に戻りました。

結果的として稜線の紅葉には少し遅かったのですが、尾根から下はきれいな紅葉でした。快晴・無風の好コンディションのもとで楽しい山歩きになったと思います。お疲れ様でした。

文責 奥村(L)